

# お手入れのしかた

## 本機の清掃について

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



### お願い

本機内に水が入ると故障の原因になりますので、洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

# 故障についてのお願い

万一異常（ヒューズの溶断など）が起りましたら、必ずお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの交換や修理をされますと、思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので、特にご注意ください。

## ⚠ 注意

### 故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがする等の異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

### 分解や改造はしない



分解禁止

本機を分解したり改造すると、発煙・発火の原因になります。

# 故障と思われる前に

## 電源

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	車のエンジンスイッチが入っていない。	車のエンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしてください。	11
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	57～63
	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電しているバッテリー電源コードに接続してください。	57～63
	アクセサリ電源コードが正しく接続されていない。	アクセサリ電源コードを、車のアクセサリ電源コードに接続してください。	57～63
	アースコードが正しく接続されていない。	アースコードを、車の金属部に接続してください。	57～63
	ヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にヒューズの交換をご依頼ください。	53


必要に応じて

# 故障と思われる前に (つづき)

## 共通

症 状	原 因	処 置	参照ページ
音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください。	32
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	57～63
	結露している。	しばらく放置してからご使用ください。	
内蔵スピーカーの音が出ない。	音量が下がっている。	音量を上げてください。	20
	ナビゲーション音量の設定が“0”になっている。	ナビゲーション音量を“0”以外に設定してください。	20
左右前後のいずれかの音が出ない。	左右前後のバランス調整が片方に寄っている。	BAL/FADを適切に調整してください。	25
	各コードが正しく接続されていない。	各コードを正しく接続してください。	57～63
ステレオのとき、左右の音が逆になる。	スピーカーコードの接続が逆になっている。	スピーカーコードを正しく接続してください。	57～63
ディスプレイ部の上下角度や前後位置が調整できない。	障害物等にあたっている。	コードのはさみ込みに注意し、障害物等にあたらない位置でご使用ください。	12
ディスプレイ部が収納できない。	ディスプレイ部の左右の角度が中央に戻っていない。	ディスプレイ部の左右の角度を中央に戻してください。	13

## ディスプレイ

症 状	原 因	処 置	参照ページ
映像が出ない。	画面のコントラスト，明るさ，色の濃さ，色あいの調整が適切でない。	画面調整の各項目（“コントラスト” “明るさ” “色の濃さ” “色あい”）を調整してください。	28～31
画面が暗い。			
画面が白っぽい。			
色あいが悪い。 色が薄い。			
 赤・青または緑の点	ディスプレイ特有の現象。	故障ではありません。	
画面の明るさが一定でない。	ディマーが“自動”に設定されている。（周囲の明るさによって画面の明るさが自動的に変化します。）	故障ではありません。 設定を“1～4”にすると、周囲の明るさに影響されなくなります。	27

## TV (テレビ)

症 状	原 因	処 置	参照ページ
映像が出ない。	TVモードになっていない。	MODE ボタンを押して、TVモードに切り替えてください。	37
雑音のみで、映像が出ない。 映りが悪い。	TVアンテナがはずれている。	TVアンテナの取り付けや接続が正しくされているか、確かめてください。	57～63
	チャンネルが合っていない。 または、電波が弱い。	チャンネルを切り替えてください。	37～38
	まわりに障害物があるなどで、受信状態が良くない。	受信状態の良い場所に移動してください。	

## VTR, AV, CAMERA (ビデオ・ビデオカメラ・後方確認カメラ)

症 状	原 因	処 置	参照ページ
ビデオやビデオカメラの映像が出ない。	ビデオやビデオカメラが正しく接続されていない。 モードの切り替えが正しくされていない。	ビデオやビデオカメラを正しく接続し、接続に合わせてモードを切り替えてください。	60～61 63 41
後方確認カメラの映像が出ない。	後方確認カメラが正しく接続されていない。	後方確認カメラを正しく接続してください。	58
	カメラ入力が正しく設定されていない。	カメラ入力を正しく設定してください。	21
色が正しく出ない。	ディスプレイの明るさや色の調整が適切でない。	ディスプレイの明るさや色の調整をしてください。	28～31

## ラジオ

症 状	原 因	処 置	参照ページ
ラジオとテレビの音量に差がある。	ラジオの出力とテレビの出力が異なる場合がある。	その都度、音量調整してください。	32
FMステレオ放送、モノラル放送ともノイズが多い。	放送局が遠かったり、放送電波が弱い。	電波の強い他の放送局を選局してください。	43～44
プリセットしたはずのメモリーが、解除されている。	バッテリー電源コードが正しく接続されていない。	バッテリー電源コードを、常時通電しているバッテリー電源コードに接続してください。	57～63
	バッテリー電源コードのヒューズが切れている。	お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」(別紙参照)にヒューズの交換をご依頼ください。	53

## リモコン

症 状	原 因	処 置	参照ページ
ボタンを押しても動作しない。	電池の極性 (+) (-) が、逆になっている。	電池を正しく入れてください。	6
	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6
	リモコンの方向が正しくない。	ディスプレイ部のREMOTE(リモート)に向けて操作してください。	8

# 故障と思われる前に (つづき)

## チェンジャー使用時のエラー表示

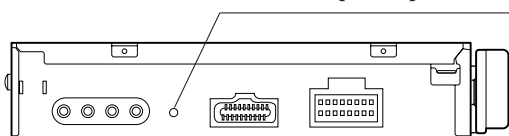
ディスプレイ表示	原因	動作	処置
- E1 -	<ul style="list-style-type: none"><li>ディスクが汚れている。裏返しになっている。</li><li>データ用MD, またはブランクMDを再生した。</li></ul>	自動的に次のディスクに移動する。	イジェクトして、ディスクを確認してください。
- E2 -	ディスクに傷がついている。		
- E3 -	何らかの原因でセットが動作しない。	-	チェンジャーのイジェクトボタンを押してください。 動作しないときは、チェンジャーのリセットスイッチを押してください。 それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理をご依頼ください。
NO DISC	チェンジャーに、ディスクが1枚も入っていない。	-	チェンジャーに、ディスクを入れてください。

### お知らせ

チェンジャーによって、表示内容および対応操作が一部異なります(チェンジャー側の仕様の違いによる)。詳細は、ご使用のチェンジャーの取扱説明書をご参照ください。

## 万一、異常動作をした場合

チューナーユニット(後面)



リセットスイッチ

この穴に折れない細い棒を入れてスイッチを押すと、異常回復後、初期の状態に戻ります。このときメモリーした内容は解除されますので、ご注意ください。

### お願い

どの操作ボタンを押しても動作しない場合に押してください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」に修理依頼をしてください。

# 配線のしかた

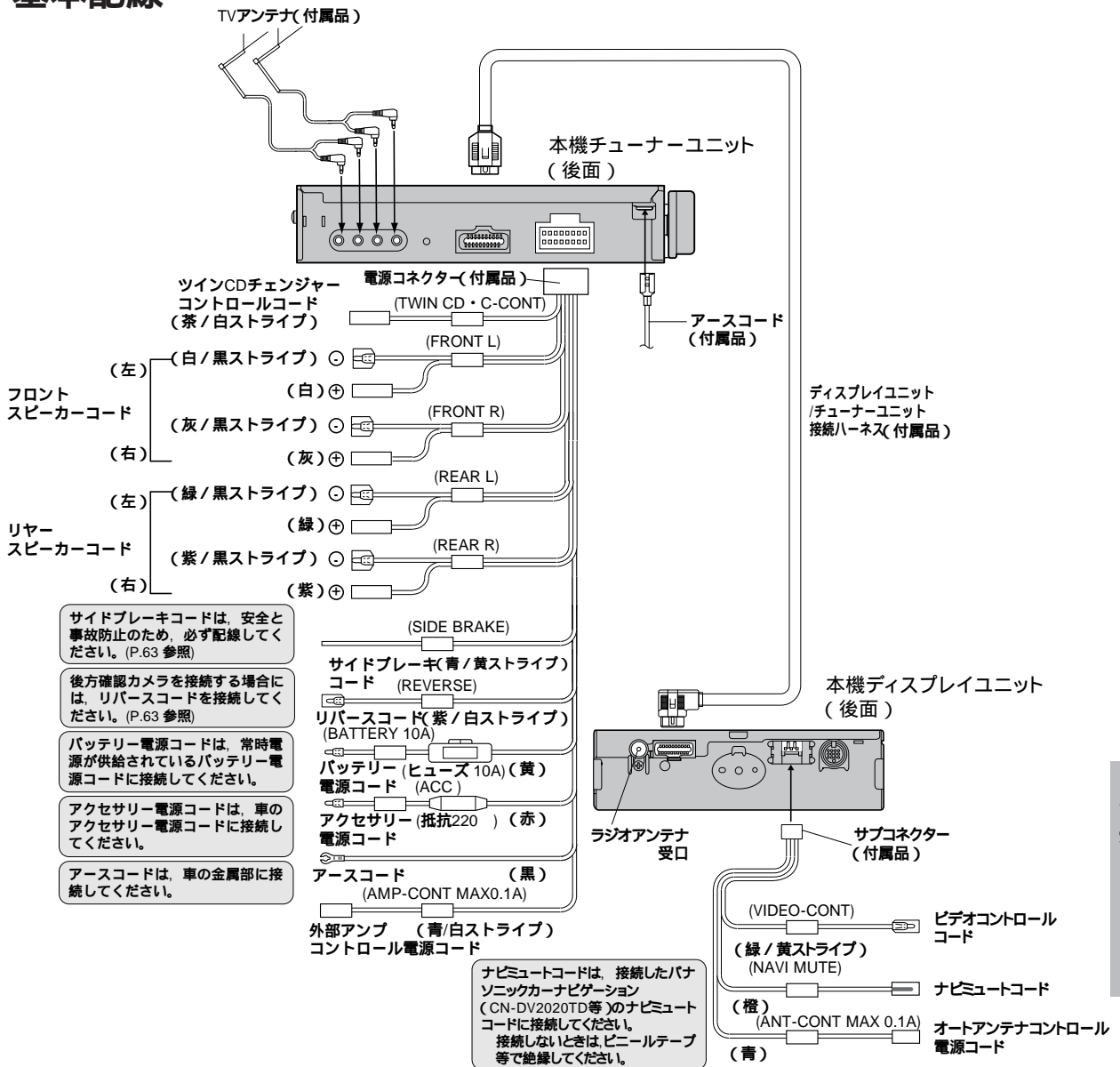
## 配線の前に

P.9 ~ 10 (各部のなまえ) をご参照ください。

- 本機はDC12 V $\ominus$ アース車専用です。
- 配線作業中のショート事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 配線については、各機器の取扱説明書をよくお読みください。
- スピーカーは各種とりそろえておりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けられている車では、バッテリーの端子をはずすとこれらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので、ご注意ください。

## 基本配線



必要に応じて

ディスプレイユニットとチューナーユニットの位置が離れてしまう場合は、別売のVA707W用中継コード CA-L084D (6m) をご使用ください。

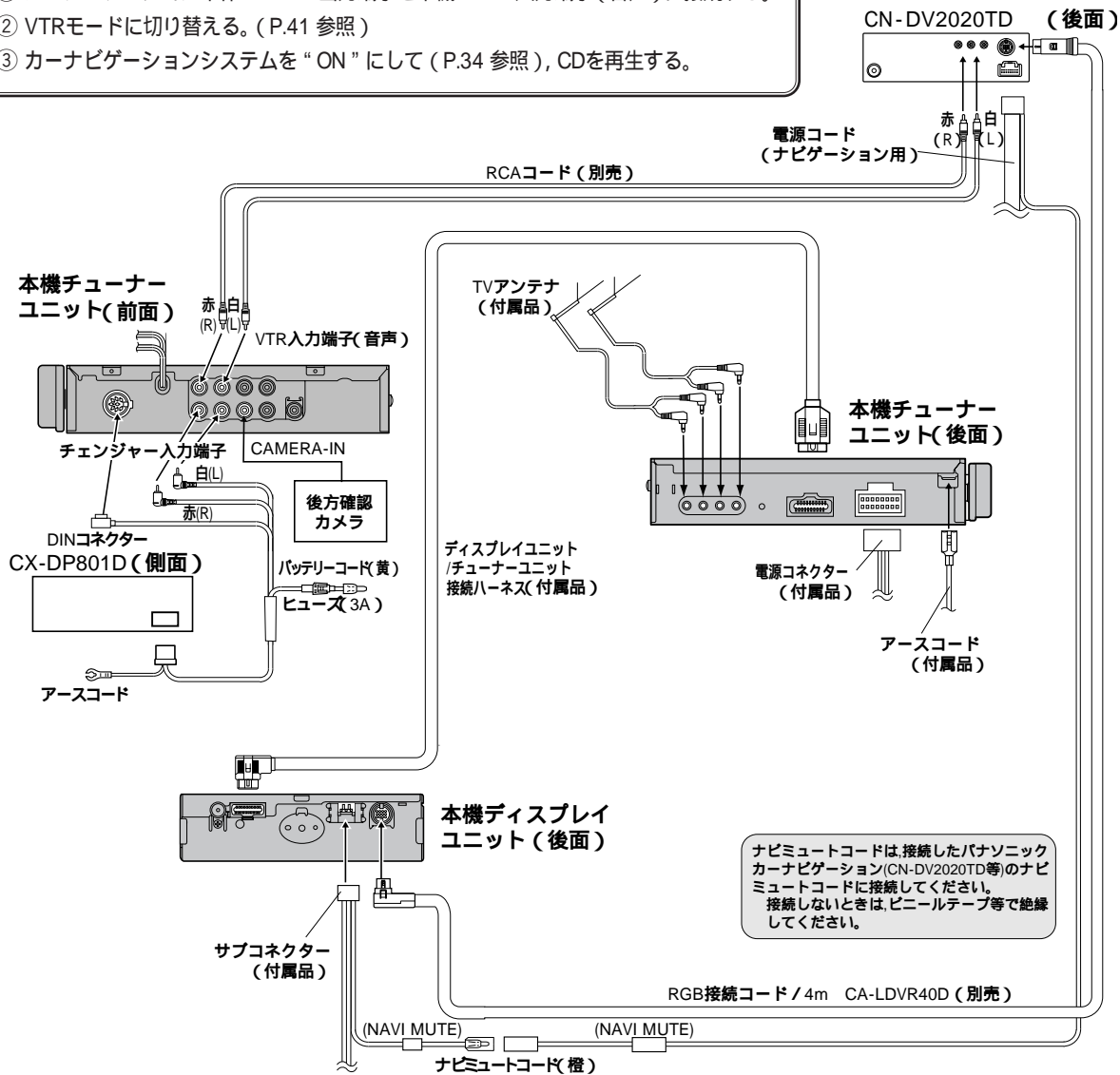
# 配線のしかた(つづき)

## システムアップ例 1

カーナビゲーション (CN-DV2020TD), CDチェンジャー (CX-DP801D), 後方確認カメラとの組み合わせ

別売のカーナビゲーション (CN-DV2020TD) でCDを聴きたいときは

- ① カーナビゲーション本体のAUDIO出力端子を本機のVTR入力端子(音声)に接続する。
- ② VTRモードに切り替える。(P.41 参照)
- ③ カーナビゲーションシステムを“ON”にして(P.34 参照), CDを再生する。

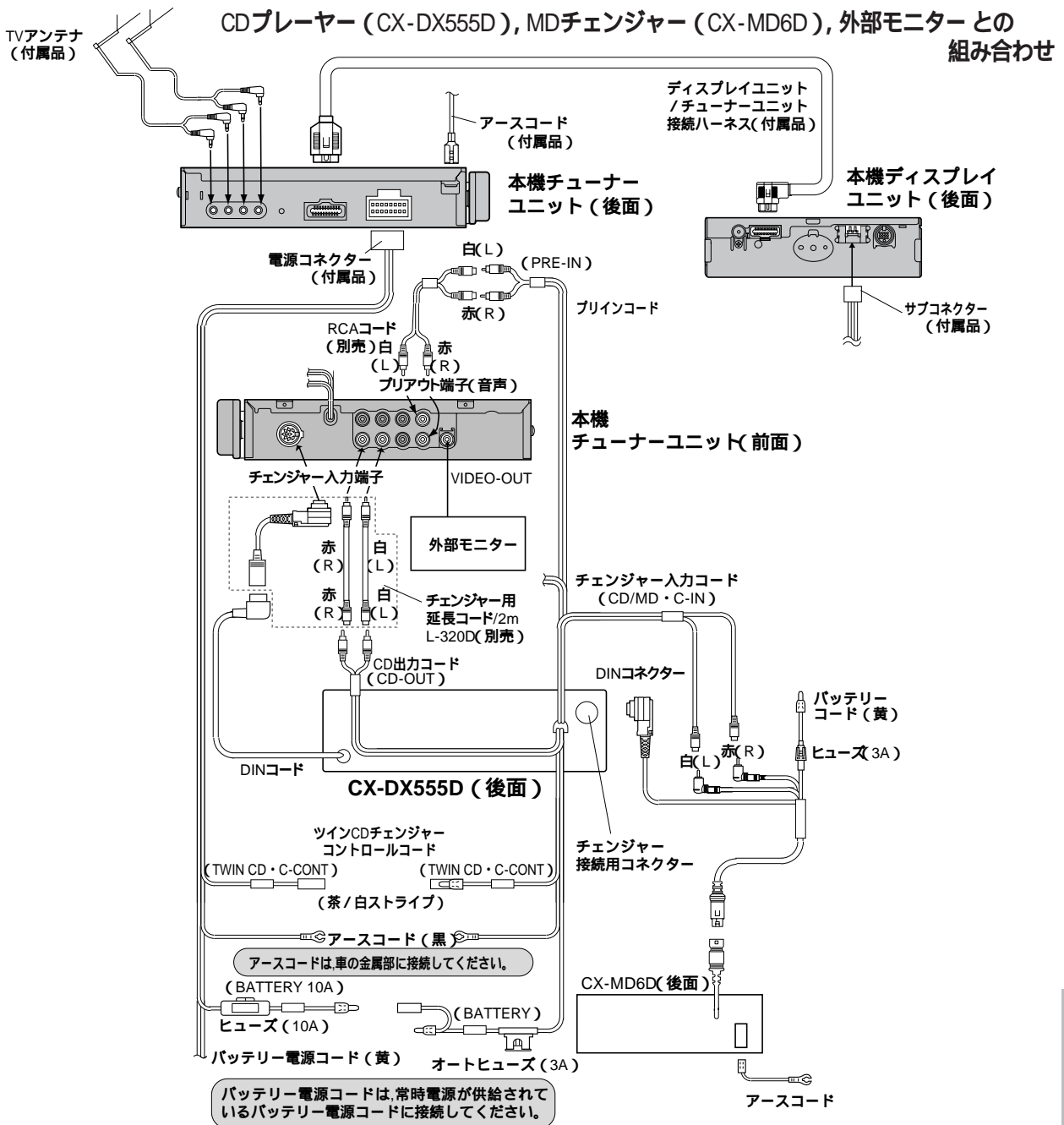


当社カーナビゲーションを接続するときに必要な別売コード

取付位置	別売コード
ナビをダッシュボードのオーディオスペースに取り付ける場合	RGB接続コード / CA-LLVR04D (40 cm) 両側ともL型
ナビと本機のディスプレイユニットの取付位置が離れている場合	RGB接続コード / CA-LDVR40D (4 m), CA-LDVR60D (6 m) L型側を本機に接続してください。
両側ともL型の旧タイプ RGB接続コードをご使用になり、ナビと本機のディスプレイユニットの取付位置が離れている場合	両側ともL型で、旧タイプの RGB接続コード + RGBコネクタ変換コード / CA-LLDV02D (20 cm) L型側を本機に接続してください。

必要なときに

## システムアップ例 2



### ⚠ 注意

#### 取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機の実装、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

必要に応じて

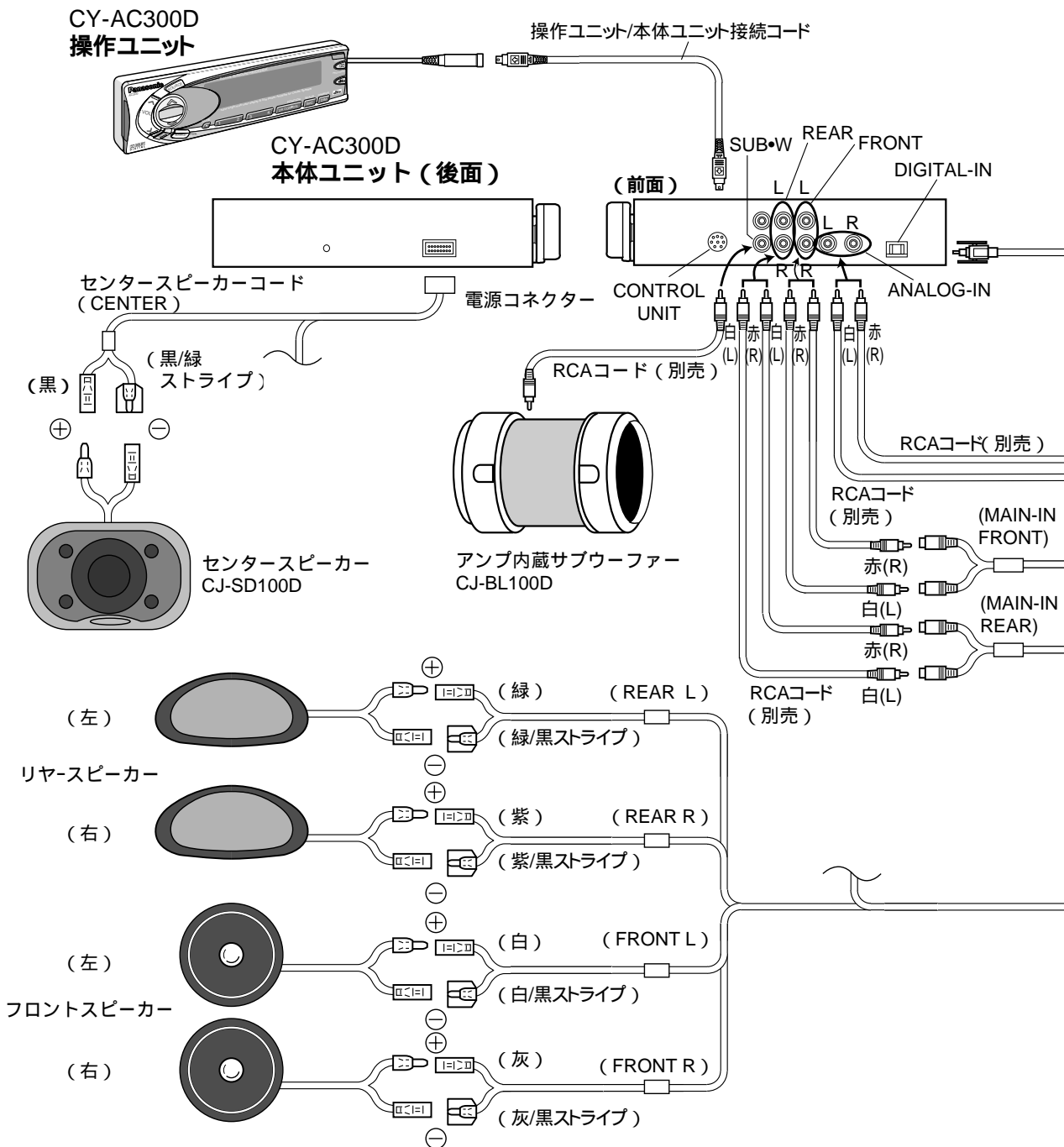


# 配線のしかた (つづき)

## システムアップ例 3： デジタルサラウンドプロセッサーでDVDのサラウンドシステムを楽しむ

### 組み合わせ

- DVDナビゲーションシステム (CN-DV2500D)
- デジタルサラウンドプロセッサー (CY-AC300D)
- アンプ内蔵サブウーファー (CJ-BL100D) 他

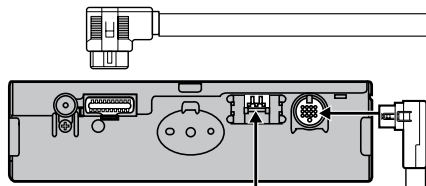


必要なときに





**本機  
ディスプレイユニット  
(後面)**



サブコネクター  
(付属品)

RGB接続コード / 40cm  
CA-LLVR04DX (別売)

**CN-DV2500D (後面)**



RGB-OUT

(VIDEO-CONT)

ビデオコントロールコード  
(緑/黄ストライプ)

(VIDEO-CONT)

電源コード  
(ナビゲーション用)

光ファイバケーブル / 3m  
CA-LRD30D (別売)

DIGITAL OUT

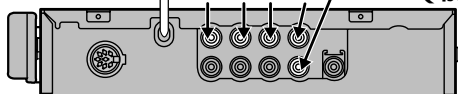
光ファイバケーブルは、  
・急な角度に折り曲げないでください。  
・ドアなどにはさむ、重いものを載せる  
などのケーブルを傷つけたり、破損  
するようなことはしないでください。

赤 (R)  
白 (L)  
黄

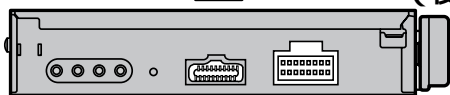
RCAコード  
(別売)

赤 (R)  
白 (L)  
黄  
白 (L)  
赤 (R)

VTR入力端子 プリアウト端子 (前面)



**本機  
チューナーユニット  
(後面)**



(後面)

電源コネクター  
(付属品)

ディスプレイユニット /  
チューナーユニット  
接続ハーネス (付属品)

**別売のカーナビゲーション (CN-DV2500D等) でDVDビデオを見たいときは**

- ① カーナビゲーション本体のVIDEO出力端子とAUDIO出力端子を本機のVTR入力端子 (映像・音声) に接続する。
- ② カーナビゲーション本体のビデオコントロールコードを本機のビデオコントロールコードに接続する。
- ③ ナビゲーションモードを “ON” にして (P.34 参照), DVDビデオを再生する。

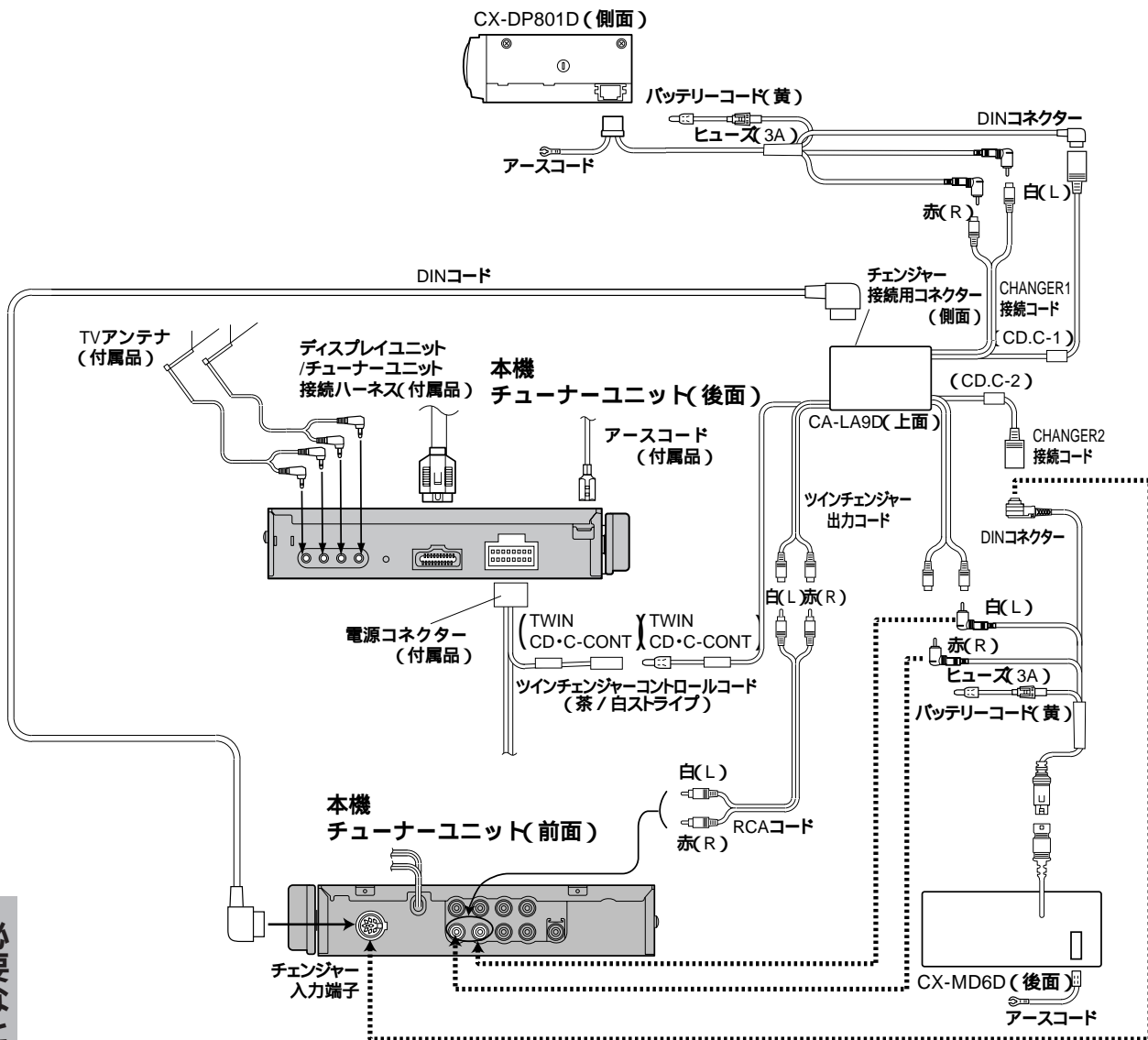
必要なときに

# 配線のしかた (つづき)

## システムアップ例 4 : チェンジャーを接続する

CDチェンジャー (CX-DP801D), MDチェンジャー (CX-MD6D) との組み合わせ

- チェンジャーを2台接続する場合には、別売のツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) が 必要です。
- チェンジャーが1台の場合は、太破線 ( ←..... ) のように接続します。(接続例 : MDチェンジャー)



必要なときに

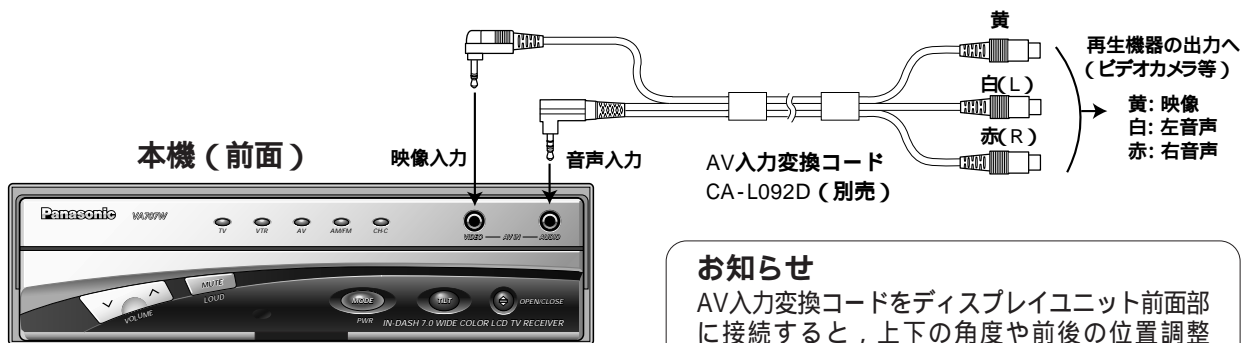
### ⚠ 注意

#### 取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

## システムアップ例 5：ビデオやビデオカメラを接続する



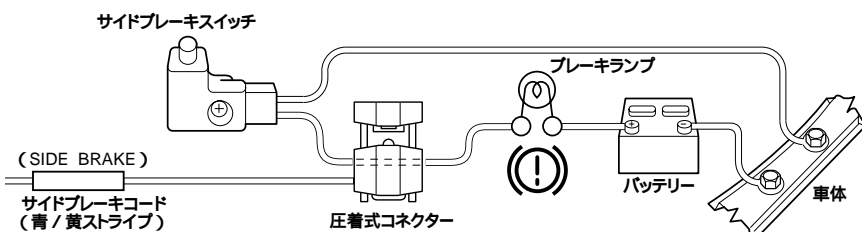
### お知らせ

AV入力変換コードをディスプレイユニット前面部に接続すると、上下の角度や前後の位置調整 (P.12 参照) が一部規制される場合があります。

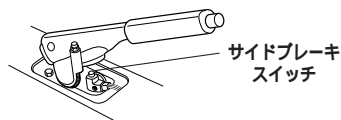
## サイドブレーキコードの配線のしかた

### お願い

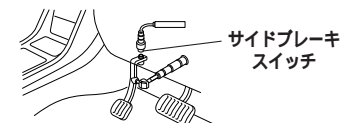
サイドブレーキコードは安全と事故防止のため、必ず配線してください。



### ハンドブレーキの場合



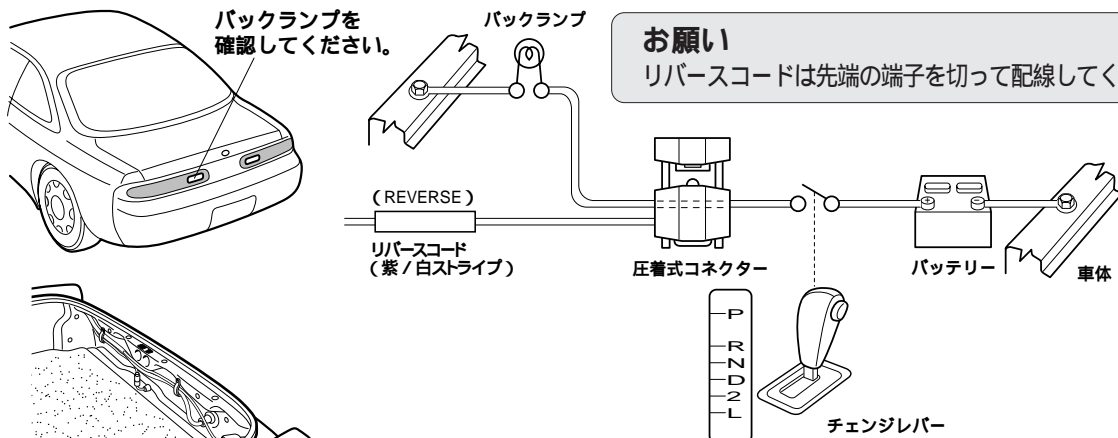
### フットブレーキの場合



- サイドブレーキコード (青/黄) は、サイドブレーキスイッチから出ている2本のコードのうち、サイドブレーキが解除のときに常時車体にアースされていない方のコードに接続してください。
- サイドブレーキスイッチの位置は車種によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

## リバースコードの配線のしかた

別売の後方確認カメラをご使用の場合は、リバースコードの接続が必要です。



### お願い

リバースコードは先端の端子を切って配線してください。

テールランプ取り付け部の裏側から取り出します。

- チェンジレバーを“R”(リバース)に入れたときに点灯するバックランプ (後退灯, 透明のレンズが付いたランプ) のプラス線に、リバースコード (紫/白) を接続してください。

# 取り付けのしかた

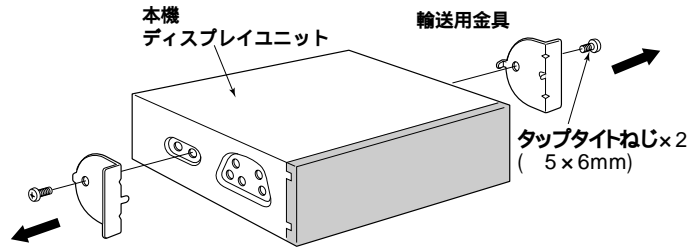
## 本体の取り付け

- 本機はDC12V $\ominus$ アース車専用です。
- 取り付けには、車両で使用されているブラケットをご使用ください。

### 輸送用金具について

取り付け前に必ず輸送用金具をはずしてください。

タップタイトねじ ( 5×6mm ) 2本は、取り付けのときに使用します。紛失しないようご注意ください。



## 取り付け用付属品

添付の袋に右表の取り付け用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
①	タップタイトねじ ( 5×6mm )	2
②	タップタイトねじ 皿型 ( 5×6mm )	4
③	スペーサー	2
④	両面テープ	2
⑤	マジックテープ	2

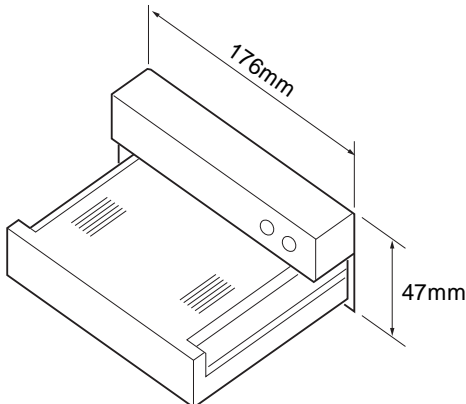
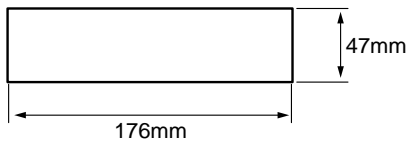
### お願い

- 本機の取り付けねじの長さは6mmです。必ず付属ねじ ① または ② をご使用ください。
- 後部取り付け穴 (P.9 参照) にはタップ加工がありません。ご使用になる場合には、付属の取り付けねじ等で必ずタップ加工をしてから取り付けてください。

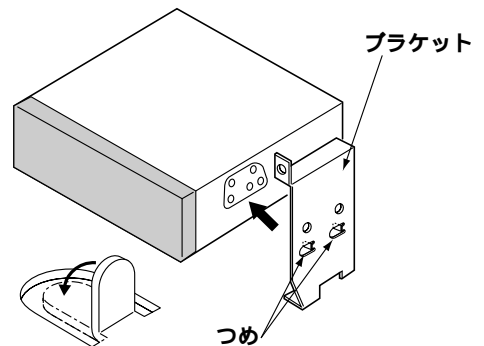
## 取り付け時の注意

- 車種により、オーディオ取付位置や開口寸法にバラツキがあるため、取り付けできない場合やディスプレイ部が開口部にこすれて動作しない場合があります。特に開口部が47mm×176mm以下の寸法の場合には、販売店にご相談ください。

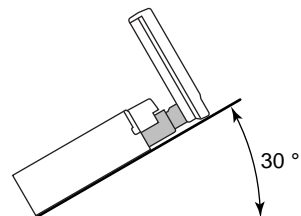
### 開口寸法



- ブラケットに“つめ”がある場合には、ラジオペンチ等で“つめ”を折り曲げて、平らにしてください。



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して30度以内の角度で取り付けてください。



## ⚠ 注意

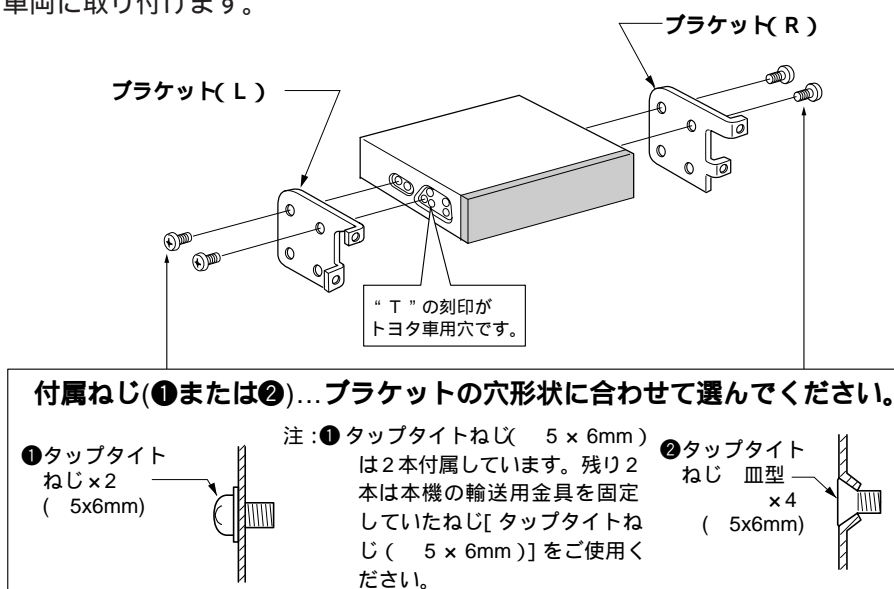
### 取り付け、配線は専門技術者に依頼する



本機取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

### トヨタ車に取り付ける場合 (DINサイズ採用車)

1. 車両からカーラジオ、小物入れを取りはずし、それらを止めているブラケットを取りはずします。
2. 付属ねじ①または②を使用して、本機にブラケットを取り付けます。
3. 本機を車両に取り付けます。



- 年式、車種、グレードにより、専用キット ( 別売 ) が必要な場合がありますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、車両側との配線が容易にできる専用の中継コード ( 別売 ) が準備されておりますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

### 日産車、本田車、三菱車に取り付ける場合 (DINサイズ採用車)

- 上記メーカーのDINサイズ採用車には、メーカー別の標準取り付けキット ( 別売 ) が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。
- なお、年式、車種、グレードにより専用キット ( 別売 ) が必要な場合もありますので、販売店にご相談のうえ、お買い上げください。

### 上記以外の車に取り付ける場合

汎用 ( 別売 ) または車種別に専用キット ( 別売 ) が準備されておりますので、別途販売店にご相談ください。

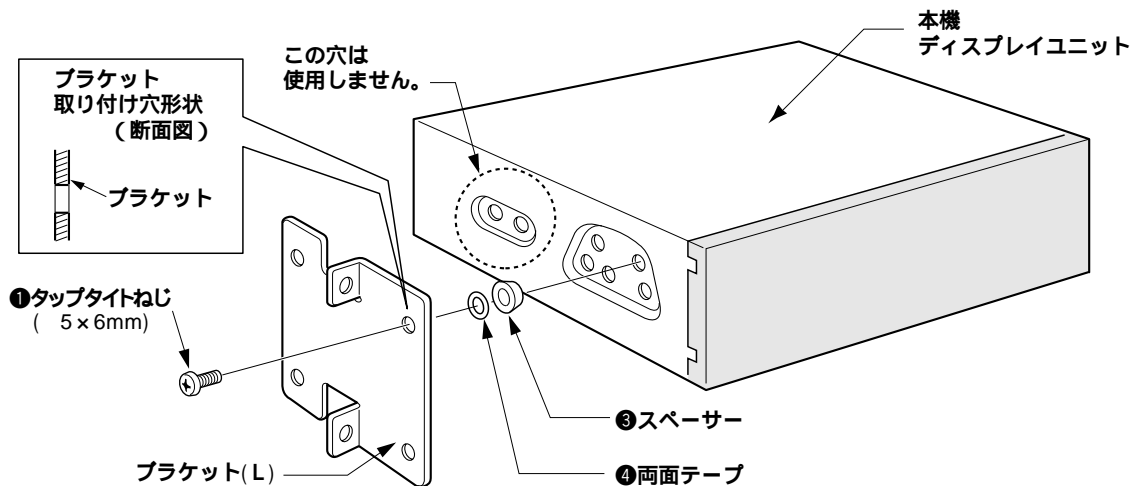
### お知らせ

DINサイズ採用車とは、オーディオスペースに通称セット幅180mm、高さ50mmサイズが取り付けられる車です。

# 取り付けのしかた(つづき)

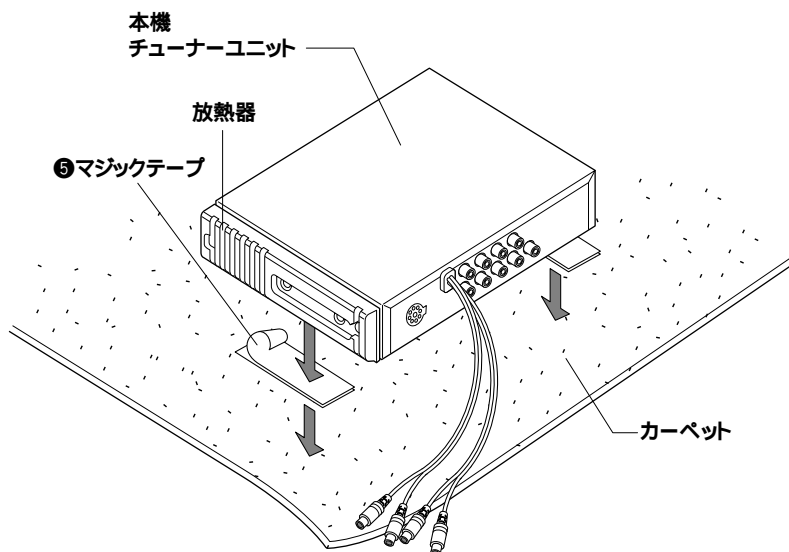
## スペーサーについて

車両のブラケット取り付け穴形状が下図のような場合に使用します。下図をご参照のうえ、正しく取り付けてください。



## チューナーユニットの取り付けかた

チューナーユニットにマジックテープを貼り付けて、車両のカーペットの上に取り付けます。



### お願い

- 本機を連続して使用すると、チューナーユニットの放熱器や上部が熱くなります。動作中には手などを触れないよう、またユニットの上部に物などを置かないようにしてください。
- ヒーターの吹き出し口の近く、およびダッシュボードやリヤートレイの上のように直射日光のあたる場所など、高温により故障するおそれがある場所には取り付けないでください。
- ドアの近くなど、雨水がかかりやすい場所には取り付けないでください。
- マジックテープの貼付面は、油・水・ほこり等を必ず取り除いてください。

### お知らせ

車両のカーペットの種類によっては、取り付けのできない場合があります。

# TVアンテナの貼り付け

## TVアンテナ用付属品

- 付属アンテナは、車載用テレビ専用です。(カーラジオには接続できません。)
- 添付の袋に右表のTVアンテナ用部品が入っています。ご使用前に、よくお確かめください。

番号	品名	数量
Ⓐ	アンテナ本体左右(ケーブル6m)	各1
Ⓑ	アンテナベース(アンテナ本体に装着して出荷)	2
Ⓒ	クリーナーセット.....クリーナー液、ウエス(布)	一式
Ⓓ	ケーブルカバー	4
Ⓔ	ケーブルクランプ	6
Ⓕ	六角レンチ	1

## 貼り付けられる車種

トランクがある3BOXカー(4ドア, 2ドア車)専用です。1BOXカーには貼り付けられません。(アンテナが目にあたったり、バックドアの開閉でケーブルが断線することがあるため)

### お知らせ

フッ素樹脂処理(水滴や泥水等をはじきやすくさせる、はっすい処理)された塗装面、ガラス面、および再塗装された塗装面には、貼り付けられません。

## 貼り付ける前に

アンテナは、車幅や車の前後部からはみ出さない位置を選んで貼り付けてください。歩行者等に接触して事故の原因になることがあります。

- 雨天時は、野外で貼り付けない。  
接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。車庫内ではドライヤー等を利用し、水分を取り除いてください。
- ガラスの表面温度が低いとき(外気温 20 以下)は暖める。  
接着力を上げるため、5分間ほどリヤウインドデフォグスイッチおよび車内ヒーターを入れ、暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付けたあと24時間以内は、雨中の走行や、水をかけたり、引っぱったりしない。  
接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。通常の走行にはさしつかえありません。

## 貼り付けかた

### 1. 貼り付ける部分をきれいに拭き取る

- 付属のクリーナー液をウエス(布)につけて、ほこり・油・ワックス等を取り除きます。
- クリーナー液が白く乾いたら、布でから拭きしてください。

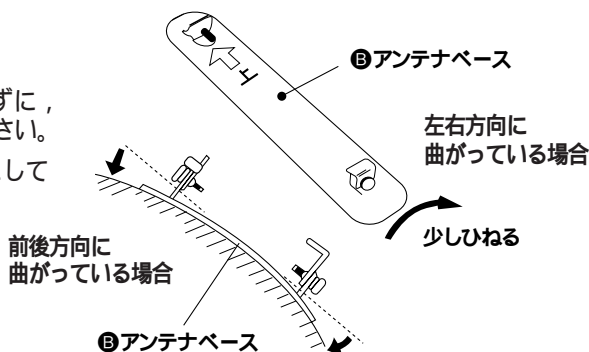


### お願い

付属のクリーナー以外のものはご使用にならないでください。接着力が弱くなり、走行中にはがれることがあります。

### 2. アンテナベースを整形する

- アンテナベースのはくり紙(裏面)をはがさずに、アンテナベースをガラスの曲面に合わせてください。
- ガラスにあてたとき、すき間ができないようにしてください。

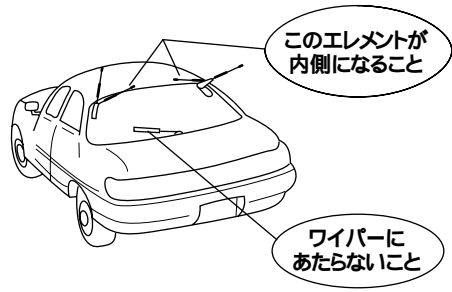




# 取り付けのしかた (つづき)

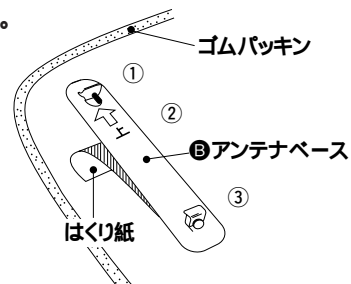
## 3. 貼り付ける位置を確認する

- アンテナベースの位置やエレメントが左右対称になるようにビニールテープ等で仮固定し、位置を合わせます。
- リヤウインド上部の左右のコーナーで、アンテナベースが密着する場所に貼り付けてください。
- コーナーに貼り付けたときに上側のエレメントが車体の外側に出る場合、およびガラスの曲面がきつく、アンテナベースがガラス面にフィットしない場合は、コーナーからはなして貼り付けてください。



## 4. 貼り付ける 左右のアンテナを貼り間違えないよう、ご確認ください。

- アンテナベースのはくり紙（裏面）をはがし、①→②→③の順で貼り付けます。
- 貼り付け部分に空気が入っていないか、車内から確認してください。空気が入っているときは、確実に密着するように、さらに押しつけてください。

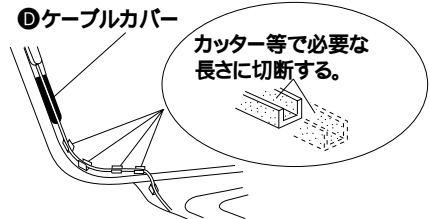


### お願い

接着力が弱くなるので、接着面には手を触れないでください。また、貼り直しをしないでください。

## 5. ケーブルを固定する

- ガラスの曲面に合わせて、ケーブルカバーを貼り付けます。

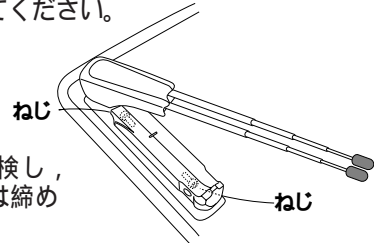
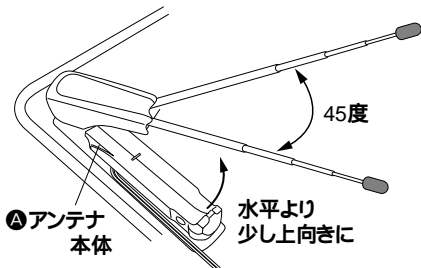


## アンテナの調整と着脱のしかた

自動洗車機での洗車や長時間駐車をされる場合には、取りはずしてトランクへ収納してください。

### 調整

- エレメントを引き伸ばし、角度を調整します。
- エレメントが車体の外側に出る場合は、六角レンチで図のねじをゆるめて調整してください。調整後は、ねじを締めなおしてください。

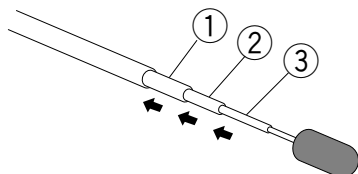


- ねじはときどき点検し、ゆるみのある場合は締めなおしてください。

### はずしかた

## 1. エレメントを縮める

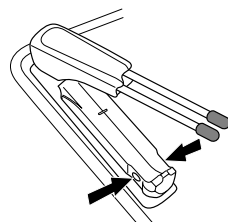
- 太い部分(①)から順に収納します。



先端は細いので、ていねいに扱ってください。

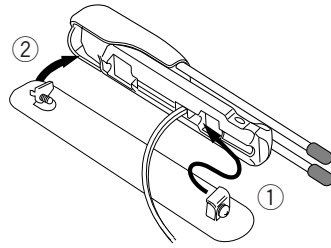
## 2. アンテナ本体をはずす

- 両側のボタンを押しながら上へ持ち上げます。

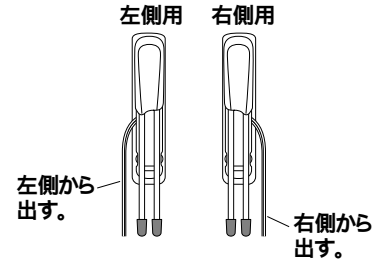


## 取り付けかた

- ① 下側の溝に差し込む。
- ② 上側の溝にはめる。  
“カチッ”と音がすることを確認ください。



## アンテナケーブルの引き出しかた

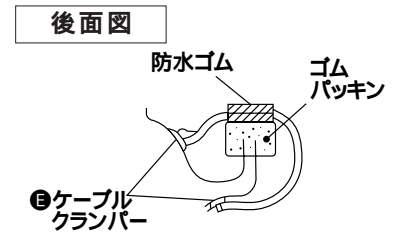
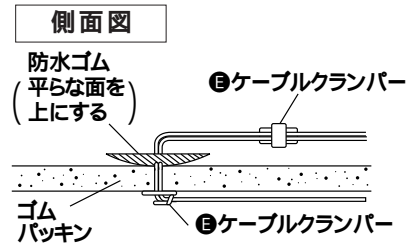
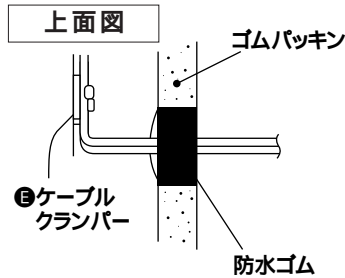
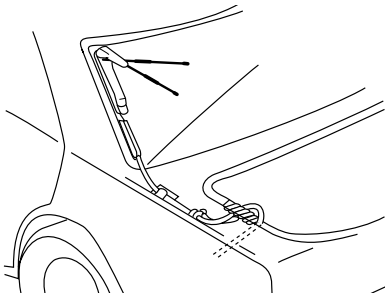


## アンテナのお手入れ

- アンテナ本体やケーブルを、アルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のもので拭かないでください。
- アンテナエレメントにゴミ等が付着してスムーズに伸縮しなくなったときは、ねり状ワックス等で磨いてください。

## アンテナケーブルの引き回しかた

### アンテナ ~ トランクルーム

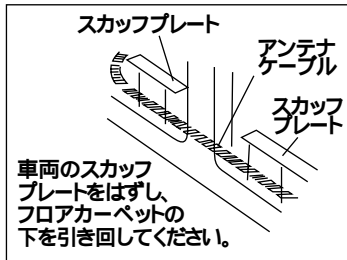


### お願い

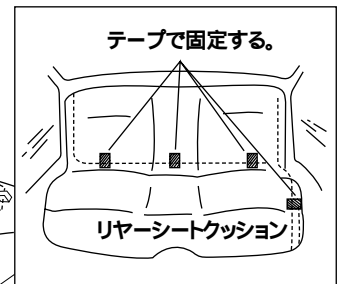
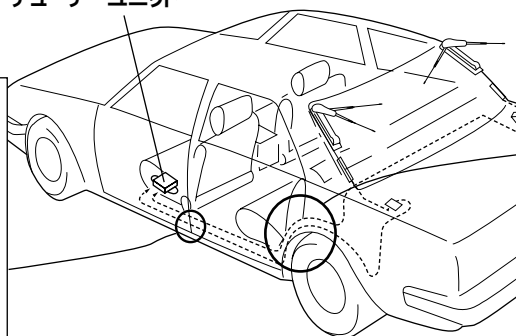
- トランク内に雨水等が入らないようアンテナケーブルを引き回し、車両のゴムパッキンより低い位置に貼り付けてください。
- 防水ゴムは、必ず車両のゴムパッキンと平行になるように取り付けてください。

### トランクルーム ~ チューナーユニット

#### チューナーユニット



車両のスカッフプレートをはずし、フロアカーペットの下を引き回してください。



### お願い

- アンテナケーブルは踏まれたり、はさまれたりしない所を通し、いすを前後に移動しても破損しないように引き回して、テープ等で固定してください。
- AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスやカーナビゲーションの本体からアンテナケーブルをはなしてください。

必要なきに

# 仕様

## 共通

電源電圧	:	DC 12 V (11 V - 16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	:	8 A (定格出力時)
音声入力感度	:	0.5 Vrms (VTR)
プリアウト出力電圧	:	0.5 Vrms
映像入力信号	:	コンポジットビデオ信号 1.0 Vp - p (75 )
映像出力信号	:	コンポジットビデオ信号 1.0 Vp - p (75 )
外形寸法	ディスプレイユニット	: 幅 178 × 高さ 50 × 奥行き 160 (mm)
	チューナーユニット	: 幅 215 × 高さ 41 × 奥行き 150 (mm)
質量	ディスプレイユニット	: 2.0 kg
	チューナーユニット	: 1.2 kg

## ディスプレイ部

ディスプレイ	:	7.0 型ワイド
画面寸法	:	幅 156 × 高さ 87 × 対角 178 (mm)
画素数	:	336 960 画素 (縦 234 × 横 480 × 3 )
有効画素率	:	99.99 %以上
表示方式	:	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	:	この字型冷陰極管 (エッジライト方式)
使用光源	:	内部光 (小型蛍光管内蔵)
スピーカー	:	3.6 cm 丸型一個
スピーカー出力	:	0.7 W

## テレビ部

受信チャンネル	:	VHF 1 ~ 12 ch, UHF 13 ~ 62 ch (TVステレオ, 音声多重)
実用感度	:	42 dB/μV

## チューナー部

### FMチューナー部

受信周波数範囲	:	76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度	:	12 dBf
全高調波ひずみ率 (モノ)	:	0.6 % (1 kHz)
聴感補正SN比 (モノ)	:	60 dB
周波数特性	:	20 Hz ~ 15 kHz (±3 dB)
分離度	:	40 dB (1 kHz)
実効選択度	:	75 dB

### AMチューナー部

受信周波数範囲	:	522 kHz ~ 1 629 kHz
実用感度 (S/N 20 dB)	:	30 dB/μV
イメージ妨害比	:	65 dB

NAVIIは、登録商標です。

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# アフターサービスについて

## 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

保証期間 - お買い上げ日から1年間

## 修理を依頼されるとき

“故障と思われる前に”の項に従って調べていただき、直らない場合には必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。

お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にご連絡ください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低6年間保有しております。

## アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）にお問い合わせください。

